

# 地域共生ボランティアのすすめ

講演 池田 昌弘氏

(NPO 法人 全国コミュニティライフサポートセンター)



パネルディスカッション

## ～地域共生社会への活動～

パネラー 清水 福子氏 (認定 NPO 法人 あかねグループ)

佐藤 宏美氏 (NPO 法人 おりざの家)

對馬 良美氏 (認定 NPO 法人 キッズドア)

ファシリテーター

浅川 澄一氏 (福祉ジャーナリスト)

開催日：平成 4 年 9 月 25 日 (日) 14 時 00 分～16 時 20 分

会場：仙台市シルバーセンター 7 階 第一研修室

主催：公益社団法人 長寿社会文化協会

後援：仙台市教育委員会、仙台市社会福祉協議会



2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 「地域共生ボランティアのすすめ」

令和4年9月25日（日）午後2時～午後4時20分

仙台市シルバーセンター7階 第一研修室

講演

# 池田 昌弘

NPO 法人

全国コミュニティライフ

サポートセンター（CLC）

理事長

連絡先

〒981-0932 仙台市青葉区木町  
16-30 シンエイ木町ビル1階

TEL022-727-8730

FAX022-727-873

<https://www.clc-japan.com/clc>

プロフィール：社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだんの社」副社長（特別養護老人ホームなどの施設長を併任）を経て、2005（平成17）年7月から現職。特別養護老人ホームのユニットケア、在宅サービスの小規模多機能型居宅介護、共生型サービスの制度化に関わる。2009年から、宮城県仙台市内で24時間365日型の緊急宿泊受け入れを行う「国見・千代田のよりぬきなたぼっこ」を運営。近年は日常の暮らしのなかにある住民同士の支え合いを「地域のお宝」とし、制度やサービスを上手に活用しつつお宝を生かす地域づくりを推進。コロナ下で「つながりを切らない情報交流ネットワーク」共同代表及び「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」共同事務局として、つながり続けることの大切さを発信している。

主な著書：『コロナ下で考える 気にかけて合う地域づくり』CLC,2020年

『支え合いの地域づくり 池田昌弘が各地を訪ねて考えたこと』  
CLC,2016年 他

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）の紹介：CLCは、高齢者及び障害者、子どもなどが自立した生活を営むために必要な支援を実施する団体や、それらの団体のネットワーク組織を支援することにより、「だれもが地域で普通に」暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指して、1999年夏に任意団体として設立されました。主な活動内容：社会福祉に関するセミナー・フォーラムの企画、運営支援、調査研究、団体支援社会福祉に関する出版の企画、編集、地域生活支援サービス など

公益社団法人長寿社会文化協会（WAC）  
日本財団助成事業「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 地域共生ボランティアのすすめ

2022. 9. 25

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（GLC）  
池田 昌弘

### コロナ禍で見えてきた 「普段からの気にかかけ合い」を活かす視点！

～ ある市町村社会福祉協議会の会長からの声 ～

- 「**“集める(集められる)” 通いの場**」は、コロナ禍で「**自粛**」となったが、改めて住民の暮らしに目を向けてみると、  
● コロナ禍でも、いつもどおりに暮らす高齢者の姿があった。  
感染予防に配慮しての、身近な仲間数人とおしゃべりやおすそ分けは、  
つながりを切らないための「**自発的に“集まる” (小さな通いの場)**」  
一方、自治会長や民生委員、通いの場などのリーダーは、  
**気になる人を、いままで以上に気にかけている。**
- これが日常的にできているのならば、わざわざ  
通いの場を開いて“集めなくても”良かったのかもしれない・・・。

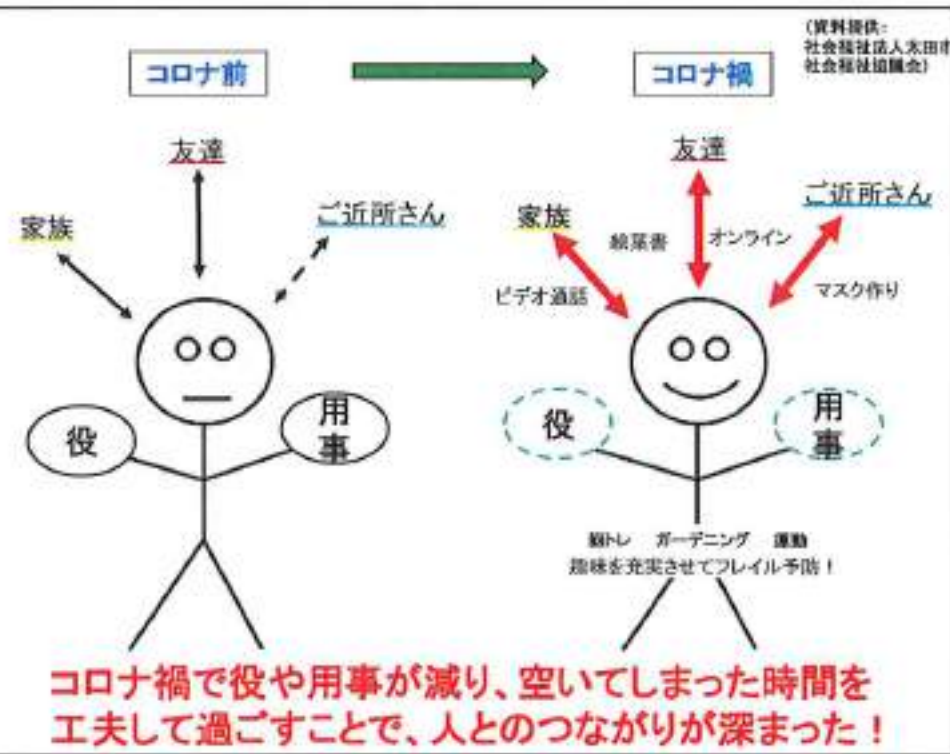


「**集める**」ことばかりに目を向けるのではなく、  
「**(自発的に)集まる**」場にも目を向ける必要があった！



◇太田市版「つながる通信」で活動取材・紹介  
(2020.6~これまでに82号発行) ホームページ掲載、区長会を通じて回覧

(資料提供: 社会福祉法人太田市社会福祉協議会)



(資料提供: 社会福祉法人太田市社会福祉協議会)

## 皆で散歩をしませんか！

2月にスタートした「お茶の間カフェもいた」ですが、新型コロナウイルスの関係で3月から休止状態が続いています。

せっかく皆で集まって楽しい時間が過ぎていたのに、これではまた元の生活に戻ってしまい、体調の悪化を招く恐れがあります。

そこで、「3密」を避けて皆が楽しめることはないか考えた結果「地区内を皆で散歩をしたらどうか」と考えました。

天気のよい日だけ行い、コースは高麗に沿って通り、集会所をスタートして岩神公園で小休止し、集会所に戻って来るコースです。

時間は目安と考えてください。参加は自由です。ご自分の都合に合わせて途中から参加して、途中で抜けることも可能です。

各自、動きやすい服装で参加してください。できれば「散歩物」を履いて参加すると良いと思います。  
また、マスクの着用をお願いします。

当面は都合のつく限り木村が先導します。  
天気が良ければ26日(月)からスタートしたいと思っておりますので皆さん声を掛け合って参加してください。

吉沢町2区南沢自治会 **区長が作成したチラシ**

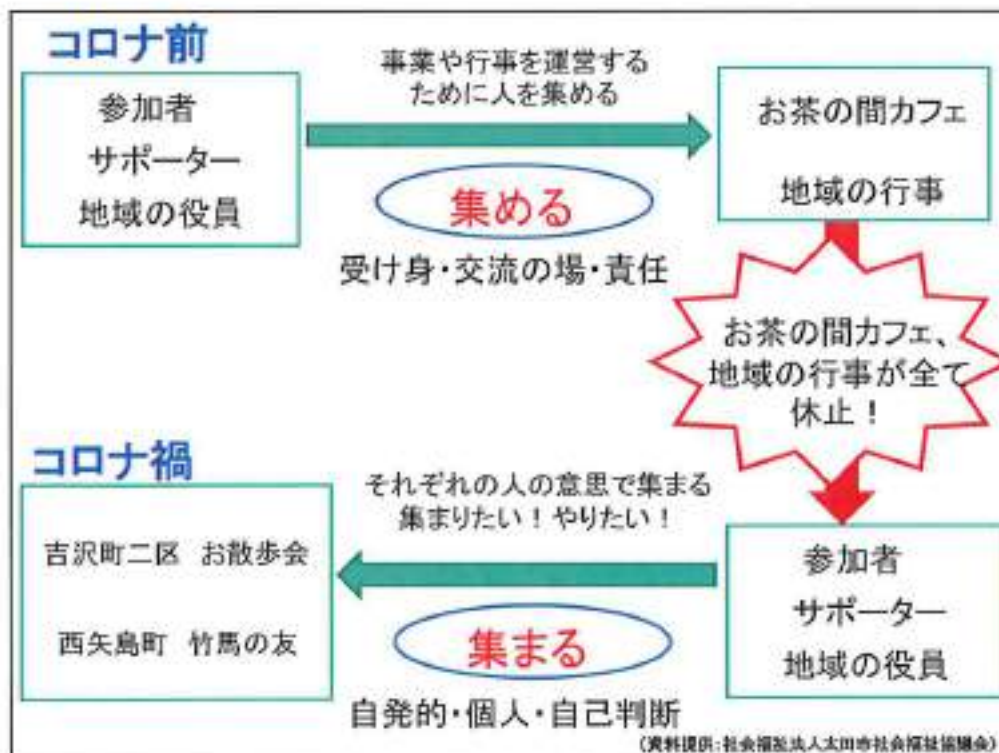
**お茶の間カフェは休止** → **お散歩会を開始**

(資料提供: 社会福祉法人太田市社会福祉協議会)

### お散歩のコース

集会所をスタート 午後2時

岩神公園で小休止 午後3時頃



## コロナ禍を経て、改めて気づいたことは…



- コロナ禍でも、感染予防しながら、  
好きなことを**ともに楽しむ友人や仲間**がいる。  
その友人・仲間とは、顔を見かけない日でも、お互いを気にかけて、  
気になること、気にかかることがあれば、声をかけたり、  
おすそ分けをしたりなど、**ちょっとした手助けをし合う**。  
いくつになっても**頼り・頼られ、活躍できる**、そんな友人・仲間との  
日常が、自分の、友人・仲間の、地域みんなの、**人生を豊かにしている**。



「**集め(られ)る**」から「**(自発的に小さく)集まる(つむがる)**」へ

**「集める」こともたいせつだけど、  
それ以上に、自発的に「集まる」ことがたいせつ！**  
(参加人数や開催回数などを競ったりカタチにこだわったりの「落とし穴」に気づく！)

あ、カーテン、  
今日も開いたね。

目にするだけ。それも確かな地域の力

「気に掛ける」が増えると「安心」が増える

福岡県久留米市ポスター

あ、カーテン、  
今日も開いたね。

目てるだけ。  
それも確かな地域の力

「気に掛ける」が増えると  
「安心」が増える」

マンション自治会主催  
お茶会(月1回)が  
コロナで中止

↓

自治会長と管理人で  
アイデアの出し合い

↓

2020.4.13～毎朝8時  
廊下・広場で  
ラジオ体操。  
新たなつながりが  
芽生えている

淀川〇っと！かわら版  
Vol.03(2021.1.21)  
社会福祉法人 大阪市淀川区  
社会福祉協議会



自中平生のゴーンハイハイの建主様



広場では距離を空けてラジオ体操

ラジオ体操を続けて、つながる

新型コロナウイルス感染症の流行により、入居者さんご自身の健康を守り、また、ご近所さんとのつながりも弱まっています。コロナ禍でマンション内でラジオ体操を続けるのは、大変なことです。しかし、ラジオ体操は、毎朝8時から10時までの間に、廊下や広場で実施されています。この取り組みは、入居者さんご自身の健康を守り、また、ご近所さんとのつながりも強めています。ラジオ体操は、毎朝8時から10時までの間に、廊下や広場で実施されています。この取り組みは、入居者さんご自身の健康を守り、また、ご近所さんとのつながりも強めています。



自中平生のゴーンハイハイの建主様

男は集められるのは苦手！

**男の居場所は「つくる」よりも「探す」もの!!**

◆ 子どものころの「秘密基地」や男だけでつどう「隠れ家」のような居心地のよい場所に「生息する」といった感じ。

— 男だけでつどうほうが気楽という感覚 — (or 紅一点)

◆ 集められるのなら、役割がないと居心地が悪く、すぐ家に帰りたくなる!!アルコールがあれば、いつまでも…

- 納屋や浜、畦など
- 農機具屋やバイク屋、釣具屋など
- 居酒屋や喫茶店など

◆ 固定された「場所」ではなく、

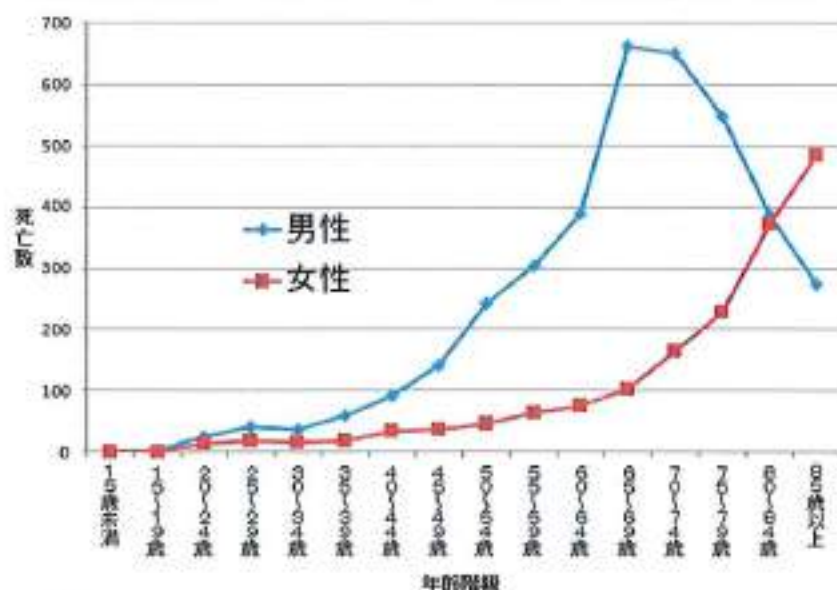
- 行動をともにする釣り仲間、釣りの合間の立ち話
- 野球などのスポーツを含む、趣味をともに楽しむ仲間

### 65歳以上の 単身者の会話頻度



※河北新報 2013年7月25日(木)掲載  
国立社会保障・人口問題研究所による2012年7月の調査結果

東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯の者の統計(平成30年)



性・年齢階級別の自宅住居死亡単身世帯者数(平成30年) 出典:東京都監察医務院



## 「支え合い」とは 「適度な迷惑のかけ合い」のこと

※「適度」とは、相手ごとに関係性の度合い等が異なるので、定量で示せない

- なのに、困っても「助けて！」と言えない。
- なのに、困っていても「大丈夫です！」と断ってしまう。



○ 実は私たち、助けられることが苦手!!  
☞ 「支えられ下手」



◇ たしかに、「迷惑をかけてはいけない」と躰けられ、育った。  
○ その一方で、「人助けは進んでするように」と、教育された。  
※ しかし、「(困った際には)助けてもらって自分を守る」  
という術を学ぶ機会に恵まれなかった!



だから、自分が困っても、「助けて！」と言えない!  
一方、「適度」がわからず、  
頼り過ぎてしまい、相手が引いてしまうことも!



支えられ上手になるためには、  
支えられる訓練が必要(「助けて！」と言える) → **受援力**  
「助けてもらって自分を守る」という生きる知恵・術を学ぶ  
☞ 「お宝探し体験」「お宝発表会」で共有・学習



**家族・親戚の  
縮小・限界**

※ 一人っ子・単身世帯などの増加



職場や趣味などの仲間  
友人・知人、近所の人  
ちょっとしたお願いができるお店 など



**「自分を気にかけてくれる人がいる」!**

※ 自分の小さな変化に気づいて、自分が「助けて!」と発する前に、  
声かけやおすそ分けなど、気にかけてくれる人が、1人以上いる。

**「助けて!と言える」相手がいる!**

※ 自分が困ったときに、「助けて!」と頼る(甘える)ことのできる人が、  
1人以上いる。



孤立

≠

“つながる”ことから、“気になる存在”が生まれ、  
⇒ “気にかける仲”となって、  
⇒ ちょっと困ると、“支えたり支えられたり”の関係に



↓ だから、「孤立」しないために・・・ ↓

いまあるつながりを切らない

×

新たなつながりも意識する

**近所・地域**



自分の変化に気づいてもらえるよう、  
「見守られる」存在となることもたいせつ!  
変化に気づいたら、放っておかない対応も!



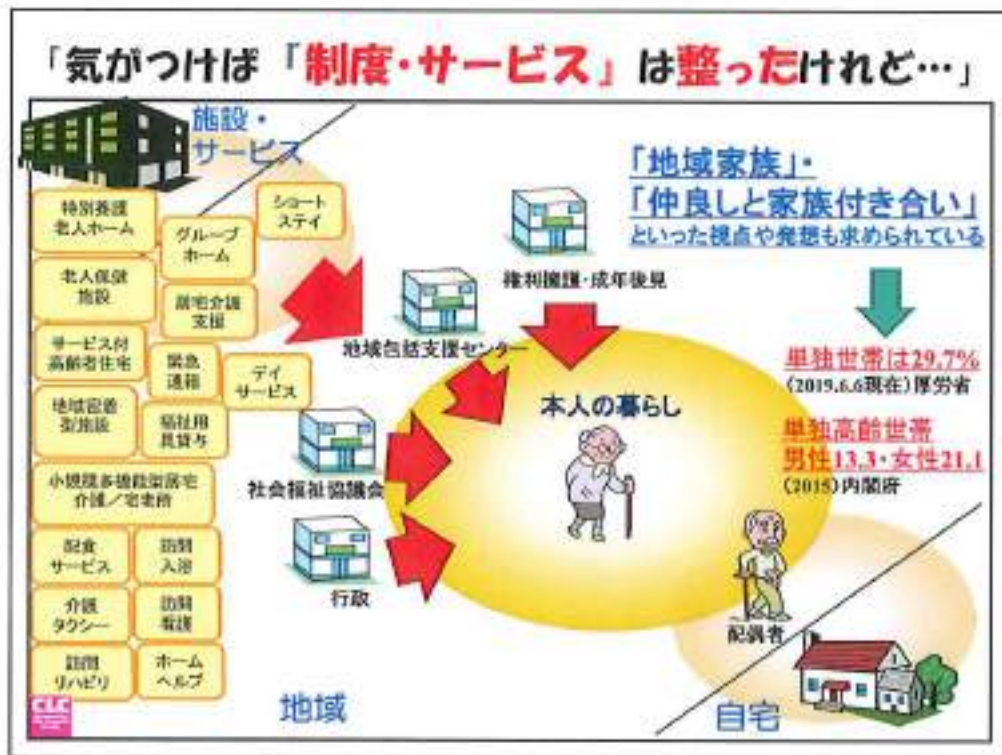
**専門職・専門機関**

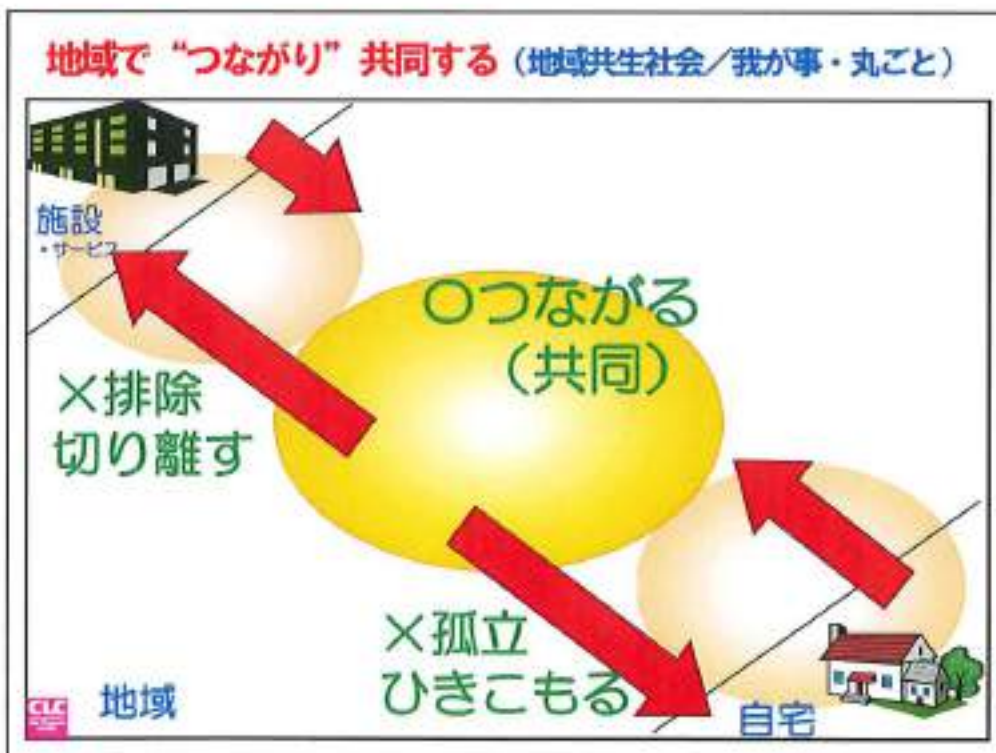
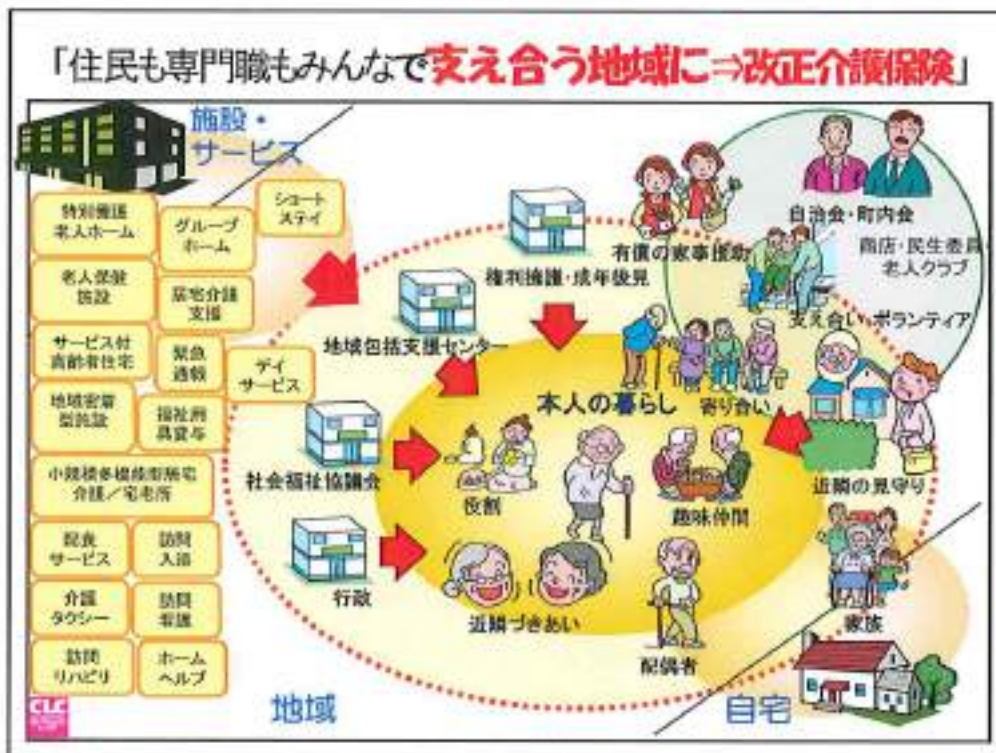
※ つながりが切れると助けを求める先がなくなるが、  
相談機関の窓口は、かなり敷居が高い!  
◎ 専門職・専門機関が、日ごろから地域に  
つながることで、地域住民が気になっていること・  
気にかかっていることを、専門職・専門機関に  
気軽に相談ができ、連携・協働の関係も育まれる



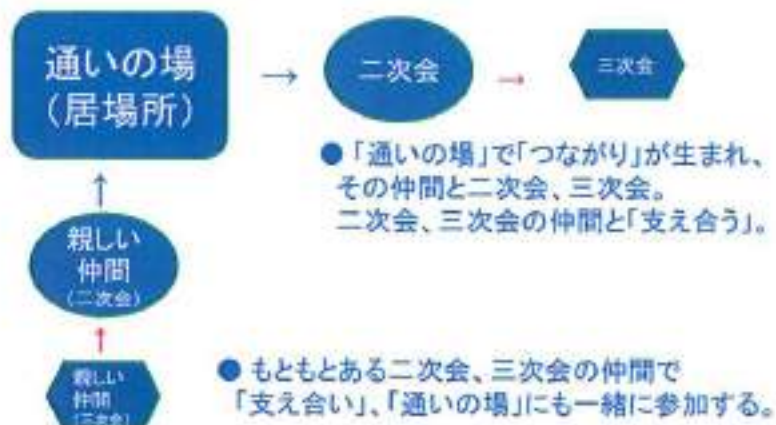
**身近な地域だからこそできることを、みんなで共有**







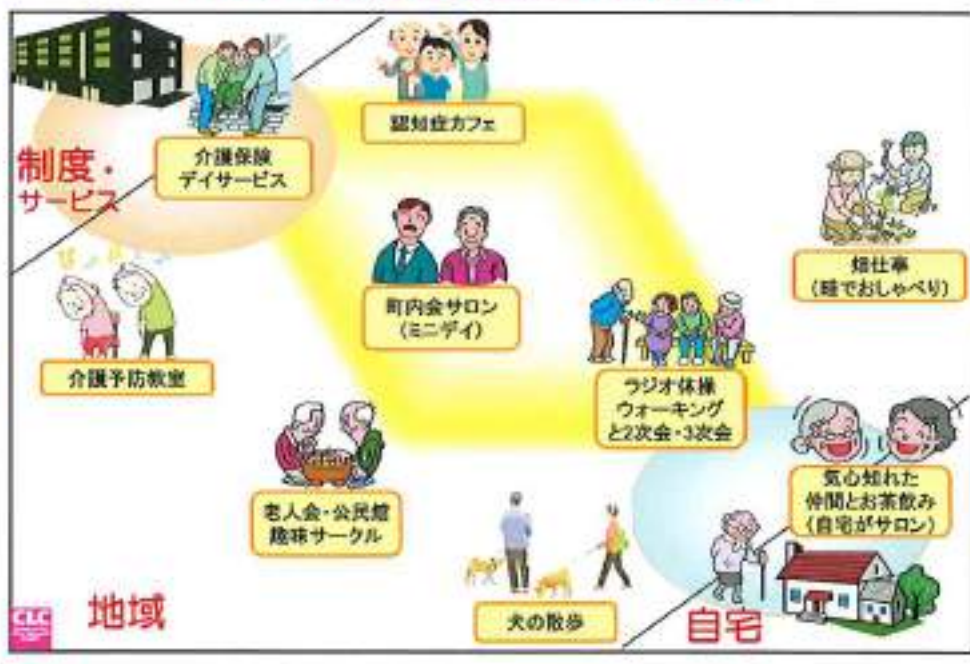
自治会等が主体となって開かれる「通いの場」は、  
〔孤立させない〕〔排除しない〕〔地域でみんな仲良く〕など、  
**「つながる」きっかけの場**となるが、  
**実際の「支え合い」は、二次会・三次会の仲間で行われている！**



**「二次会」「三次会」にこそ、目を向ける！**



**「通いの場」は多様、無数に存在する！**



## 「通いの場」は多様、無数に存在する！

サロンや介護予防教室だけではない

- 自宅などでのお茶飲み(住み開き)
- 挨拶やその際のちょっとした立ち話
- グループでのラジオ体操、ウォーキング、犬の散歩
- 地域の小売店(移動販売)や飲食店(喫茶店)、理美容店、診療所など、スーパーマーケットでも
- 子ども会、女性会、自治会、老人会、消防団などと、その二次会、三次会、そのOB会
- 地域のお祭りとその準備のための寄り合い、練習など
- 子どもの同級生の親同士(ママ友・パパ友)など
- 居酒屋などの常連、銭湯など



「通いの場」を「何地区何か所で何回開催し何人参加した」という「数値」だけでなく、「通いの場を通じてつながり、なんからの支え合いが広がった」という

「気にかける日常」に潜む「支え合い」の評価こそ重要！



人と人が「(顔を合わせる機会が増え)つながる」ことから、

「気になる存在」が生まれ、

それが「気にかける仲」となって、

ちょっと困ったことがあると、

「支え合い(支えたり支えられたり)の関係」へと

発展していく姿に気づく！

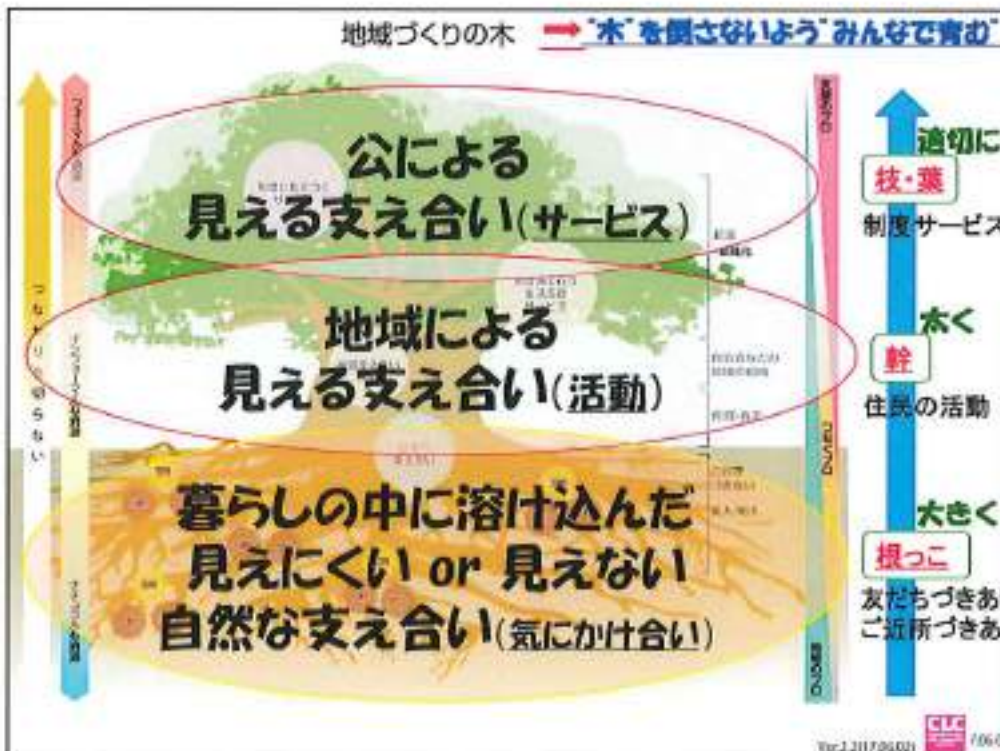
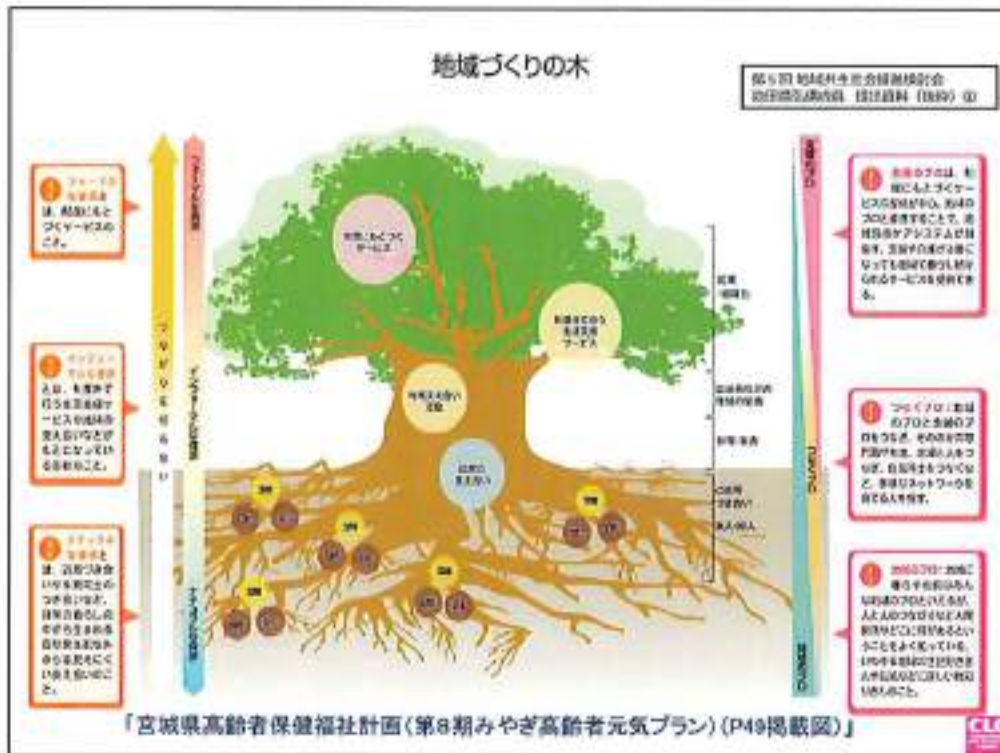


- ご近所(向こう三軒両隣)が気になる
  - いつも顔を合わせる仲間(サロン仲間・趣味仲間など)が気になる
  - 毎日のように電話で話す、ちょっと離れた友人・知人が 気になる
- ★(寝込んでいたら…、亡くなっていたら…、出火したら…と気になるだから、「声がけ」や「おすそ分け」などで見守る)

★「支え合い」は、嫌いな人とは行われていない★

☞しかし、嫌いな人ほど、気になるもの！

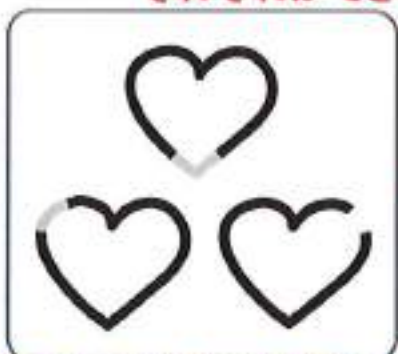




「地域住民同士のケア・支え合う関係」には、「インフォーマルな資源」と「ナチュラルな資源」があり、「ナチュラルな資源」の意識化が重要。

- 地域基盤を維持強化していくためには、地域住民の支え合い（互助）をベースとした地域づくりを進めていくことが重要となる。
- 「地域づくりの木」の図のとおり、地域を支える社会資源は、「枝葉」・「幹」・「根っこ」に分かれていて、それぞれフォーマルな資源（制度に基づくサービス）、インフォーマルな資源（制度外サービスや町内会やボランティアによる活動等）、ナチュラルな資源（近所づきあいや、そこから発展した日頃の生活の支え合い等）に分類される。
- 地域づくりの木で、枝葉や幹が茂るには、根っこの部分が大きく広がり、枝葉や幹をしっかり支えていることが重要。ナチュラルな資源は、日常の営みとして、特段意識されずに行われていることが多いため、住民も専門職も、このたいせつさに気づかない場合が多い。
- これを「地域のお宝」と呼び、地域づくりを進めるためには、地域の宝物を知ること、見つけ出すことから始め、これを見える化、見せる化し、住民相互で共有するプロセスを継続していくことが重要。
- 地域づくりは、「地域のプロ」である住民と「支援のプロ」である専門職を、「つなぐプロ」である自治会長や民生委員等の地域のリーダーと生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）等がつなぎ、一緒になって進めるもの。
- 高齢者が増え、介護保険や医療保険等が増加することで「枝葉」は大きくなり、一方で地域のつながりが弱くなって「根っこ」が縮小するとこの木は倒れるが、この木を倒さないようにするためにも、「枝葉」は適切に伸ばし、「根っこ」は厚くしていくことが求められる。

気心知れた友人同士で、お互い気にかけて、  
それぞれができることで、支え合っている！



友人同士の支え合いを、  
あえて「生活支援サービス」に  
置き換えてみたら…

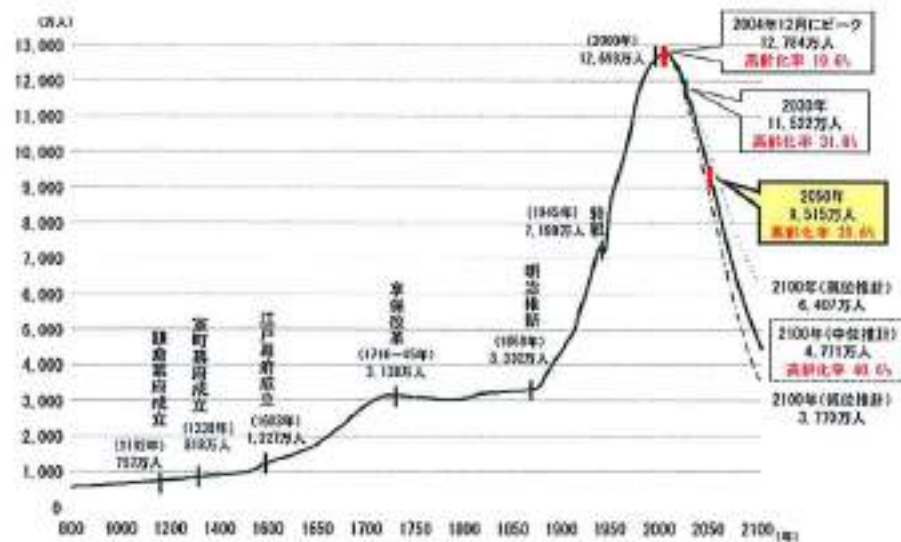
- ◆ 2～3人でのお茶飲み ⇒ 通いの場(超ミニミニサロン)
  - ◆ 昨日も顔を見かけなかったけど… ⇒ 声かけ(安否確認)サービス
  - ◆ ついでに乗せていってあげるよ ⇒ 移動(送迎)サービス
  - ◆ ついでに必要なもの買ってきてあげるよ ⇒ 買いもの代行サービス
  - ◆ ついでに、ゴミ出しておくね ⇒ ゴミ出しサービス
  - ◆ 体調心配で、食事のおすそ分けね ⇒ 食事(配食)サービス
- ➡ 「一人ひとりのニーズにフィットしたオンリーワンのサービス」!



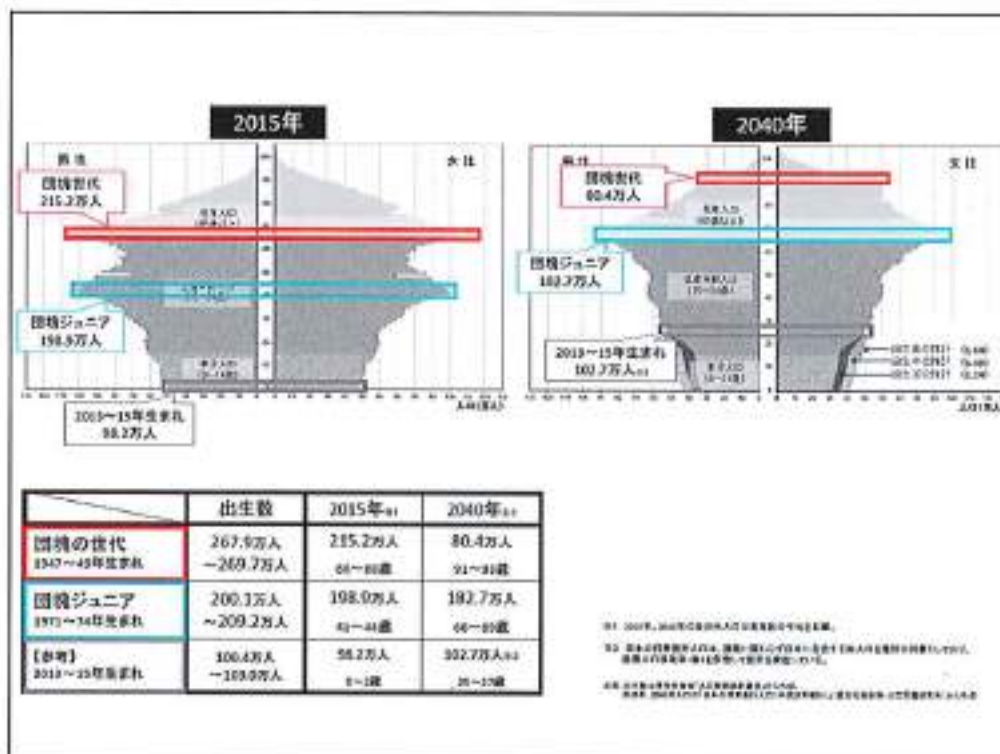


### 我が国における総人口の長期的推移

○ 我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



出典：『国史の長期展望』中野リョウジ編 歴史(平成12年2月)10頁 国土審議会委員制委員会(歴史委員会)



〔山形県米沢市板谷地区(28世帯40人・高齢化率63.6%)〕  
 通称「板谷地区女子会」と呼ばれるサロンでは、  
 参加者が口を開けば、『名言』続出!!

「(この地域の人たちは、)

**他人に迷惑をかけながら、  
 自分らしく生きているのよ!**



目指すは、「適度に迷惑をかけ合える」  
 仲間を育み、制度・サービスも活用しながら  
 支え合い、地域で暮らし続けられる社会!



ファシリテータ

浅川  
澄一

福祉ジャーナリスト

連絡先

[e-mail : r7984y8087@yahoo.co.jp](mailto:r7984y8087@yahoo.co.jp)

2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

### ～地域共生社会への活動～

令和4年9月25日(日) 午後2時～午後4時20分

仙台市シルバーセンター 7階 第一研修室

プロフィール：1948年2月、東京都中野区生まれ。東京都立西高等学校から慶応義塾大学経済学部へ。卒業後、日本経済新聞社に入社。小売り・流通業・ファッション・家電サービス産業などの担当。1987年11月に月刊誌『日経トレンディー』を創刊し、初代編集局長を5年勤める。流通経済部長、マルチメディア局編成部長などを経て、1998年から編集委員。高齢者ケア、少子化、NPO活動などを担当。2011年2月に定年退職。現在、ジャーナリストとして活躍中。公益社団法人 長寿社会文化協会の理事でもある。

著書

- ・これこそ欲しい介護サービス―安心できるケア付き住宅を求めて (日本経済新聞社 2006/3/1)
- ・高専賃+小規模型介護―登場!ケア付き住宅の本命 (TN 選書 1) (筒井書房 2007/8/1)
- ・あなたが始めるケア付き住宅―新制度を活用した  
ニュー介護ビジネス (雲母書房)
- ・宅老所は「小規模多機能型」で変わるか pt.1  
(全国コミュニティライフサポートセンター 2008/3/1) 他

# 地域包括ケアから 地域共生社会へ

- Aiging in Place
- 地域・在宅にいつまでも
- 支援は中学校圏域で完結
- 高齢者から全世代へ

2022年9月25日

福祉ジャーナリスト, WAC理事 浅川 澄一

# 初期の「地域包括ケア」

——「2015年の高齢者介護」（2003年）で——



# 「地域包括ケア」の植木鉢モデル



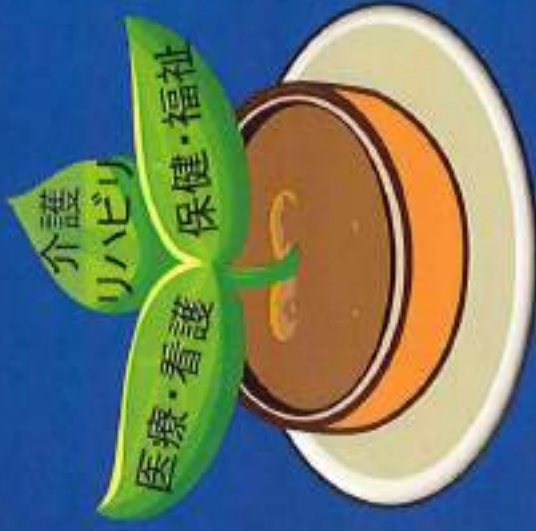
# 中学校区で完結する「地域包括ケア」



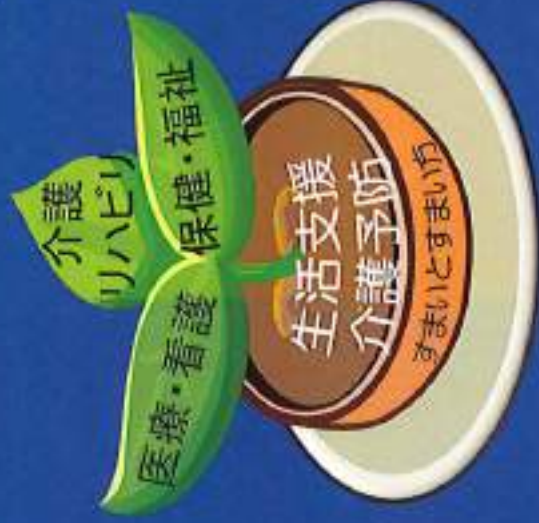
**田**  
A中学校



**田**  
B中学校



**田**  
C中学校



# <地域共生社会に向けて>

- 丸ごと「脱縦割り」
- 我が事
- 脱「交え手」受け手」

地域共生社会

地域包括ケア

全世代、全属性に

子ども

家族

障害者

就労

生活

就労

困窮者

● コロナ禍

非正規労働

ひとり親

高齢者

認知症





講師

# 清水 福子

認定 NPO 法人 あかねグループ  
理事長



連絡先

〒984-0823

仙台市若林区遠見塚 1-5-35

TEL 022-285-0945

FAX 022-282-4788

<http://npo-akane-group.jimdo.com/>

2022 年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和 4 年 9 月 25 日（日）午後 2 時～午後 4 時 20 分

仙台市シルバーセンター 7 階 第一研修室

プロフィール：あかねグループは、1982 年、10 人の有志により任意のボランティア団体として誕生。幾多の変遷を経て、今日まで活動を進めている。目指すところは、私たちが日々生活する地域において、住民の誰もが気軽に参加できるボランティア活動の場を提供すること。また、お互いの助け合いの心により、高齢者が在宅でより生き甲斐の持てる暮らしを実現できるよう、配食・介護などの事業や学習の場の提供も行っている。今後も「出会い」「ふれあい」「学び合い」をモットーに歩んでいきます。地域の福祉拠点として、だれでも参加しやすいボランティア活動の場と、生涯学習の場を提供し、地域福祉の発展を願って活動しています。赤ちゃんから高齢者まで、共に支え合いながら安心して暮らせる【まちづくり】を目指している。会員は、ひとり一人の個性を磨きながら、仲間づくりと、社会参加をしている。





地域共生ボランティアのすすめ 資料

# 地域共生社会のために ～あかねの活動～



認定特定非営利活動法人 あかねグループ 理事長 清水 福子



## あかねグループの理念

地域の福祉拠点として、住民誰もが参加しやすいボランティア活動の場の提供と、特に高齢者が在宅で暮らすことのできるサービス提供事業などを行って、地域社会の福祉の発展と住民の生涯学習に寄与します。

出会い、ふれあい、学び合い、  
そして支え合い



## あかねグループの歩み

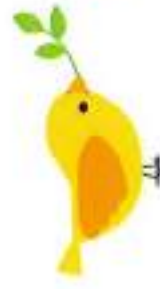
- 1982 10人の主婦により任意グループとして誕生
- 1999 NPO法人格取得
- 2016 認定NPO法人格取得



# あかねグループの事業

- 配食サービス事業
- 訪問介護サービス事業
- 総合事業
- あかねケアプランセンター





# あかねグループの活動

- ファミリーサポート活動
- ふれあいサロン活動
- あかねサロン
- 啓発活動・生涯学習の支援
- ボランティア  
コーディネート



会  
演  
講

グ  
リ  
ー  
ン  
サ  
ポ  
ー  
ト



あ  
か  
ね  
サ  
ロ  
ン



料  
理  
教  
室

夏  
ポ  
ラ



## 地域の居場所 ふれあいサロン

地域での孤立を防ぎ  
安心安全な暮らしを

- 時間 10:30～15:00
- 場所 遠見塚1丁目藤嶋様宅
- 開催日 毎週月曜・金曜
- 会費 1回 1,980円

★昼食・おやつがです  
★送迎つき

- ・あかねグループのサービスを初めて利用  
=入会金1,000円
- ・利用会費=200円/月

- 軽体操 ● 民話や詩集の朗読
- 音楽や踊り鑑賞
- 肩の凝らない学習 ● 簡単な手仕事
- 社会講座
- おしゃべりをしながらランチやおやつ





# 地域の居場所 あかねサロン

さまざまな活用で地域に根ざす

- 地域の交流の場
- ランチのお店
- 各講座の企画
- 認知症カフェ（月1回）など

## 8月の献立

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27
30	31			

500円

## 「あかねちゃん家」の試み

月に一度の「こども食堂」  
 & 「コミュニティカフェ」。  
 栄養バランスのよい  
 手作りごはんを真ん中に、  
 子供から高齢者まで、  
 ゆるやかにさりげなく  
 つながり、交流のある  
 居場所となりますように。  
 子どもたちといっしょに  
 料理をする食イベントも  
 企画しています。





# あかねサロンの活用例

こども・親子の居場所  
高齢者や街まで行けない方の外食に  
「食」を真ん中に交流を



こども料理教室



あかね食堂



夏休みクッキングとランチ



夏休みこども  
ボランティア  
とランチ



こどもが  
駆け込める店





# ぷらっと♥カフェあかね 認知症カフェ

遠見塚地域包括支援センター主催、あかねサロンで月1回開催

あかねサロンの活動が目にとまり、協力する形で始まる

遠見塚地域包括支援センター  
保健師 東海林さんの言葉

参加者にとって「和む場」  
「地域とつながりをもてる  
場」でありたい。認知症だけ  
らというわけではなくコロナ禍  
で外出できない人もいるが  
「居場所」があれば和める。  
Withコロナの時代に、感染し  
ないさせない工夫をし、折り  
合いをつけながら続けていく  
ことが大切と思う。



ギター演奏と紙芝居を  
楽しんだ一日

音楽にあわせて  
体をゆらし  
リズムにのっている  
参加者も



あかねグループの役割について改めて問いかけられた出来事



## 東日本大震災

そのとき、あかねグループは・・・



一斗缶に炭火で  
ご飯を炊く

ガソリンがない！  
自転車で出発



道行く人に  
豚汁を



地震発生の時間で  
止まった時計





あかねグループと地域とのつながり

# あかねまつり2018



地域の方が  
並んでくれ  
ました



鶏ごまフラ  
イやきのこ  
ごはんが人  
気でした



バザーを楽  
しむ皆さん



てづくり品  
のコーナー  
にはてづく  
りケーキも



パネラー

# 佐藤 宏美

NPO 法人 おりざの家  
理事長



## 連絡先

〒982-0011

仙台市太白区長町 1-12-14

TEL 022-249-1625

e-mail : [orizanoie@yahoo.co.jp](mailto:orizanoie@yahoo.co.jp)

2022 年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和 4 年 9 月 25 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時 20 分

仙台市シルバーセンター 7 階 第一研修室

プロフィール：1961 年 9 月 18 日生。

特定非営利活動法人おりざの家 理事長。仙台市太白区長町北部民生委員児童委員協議会 主任児童委員、仙台市太白区長町地区社会福祉協議会 福祉委員、家族心理士・相談士資格認定機構認定 家庭相談士、食養生コーディネーター、タッピングタッチインストラクター、1996 年～ 自宅料理教室「つれづれの会」主宰。30 代前半、自身の体調を崩したことがきっかけとなり、自然に添った生き方と食生活の大切さに目覚める。以来 20 数年、料理教室等を通し日本人の体質に合った食のアドバイスや行事食の普及活動を行う。また、地域の子育て支援・家族支援に携わり安心した暮らしの援助に努める。2013 年「特定非営利活動法人おりざの家」を設立。食育推進と家族支援事業の本格化を図る。2016 年～孤食や生活困窮家庭を対象とした多世代夕食支援「おりざの食卓」を開催。

「おりざの家」の紹介：『おりざの家』とは「食育推進」「家族支援」「生涯学習支援」を目的とした特定非営利活動法人です。

「おりざ」はラテン語で「稲」のことを表します。子育てにかかわる方々、家族をとりまく様々な問題に悩む方々に対して「食」が体と心に大きく影響することを広く多くの方に知っていただくために、食育推進、家族支援、生涯学習支援を行っています。

「おりざの家」の前身は、1996 年に始まった玄米を中心とした小さな自宅料理教室からでした。「食」の乱れが体や心の乱れに大きく影響することを自分自身の体験を通し、またこれまで一緒に学ばれた仲間を通し実感して参りました。経済活動が忙しくなると共に、私たちの体にとって最も大切な「食」がどこか置き去りにされてしまったようなそんな思いがしています。今、子どもやその家族に起きている様々な問題、「キレル」「無気力」「集中力がない」「疲れる」「不登校」など、決して「食」と無関係ではありません。むしろ大いに影響していると思っています。日々の食事、おやつなど、何をどう食べるか…がとても大切です。「おりざの食卓」では提供する食事を通し、体感して学んで頂けるよう努力しております。

地域共生ボランティアのすすめ

『食』を通じた地域の居場所

# 「おりざの食卓」

---

特定非営利活動法人 おりざの家

代表 佐藤 宏美



# 「おりざの食卓」ってどんなところ？

2016年9月より実施

生活困窮家庭や一人親家庭、共働き家庭の子どもとその保護者、また、地域とのつながりが希薄な一人暮らしの高齢者及び中間層世代の方々と



「共に食卓を囲み、夕食を食べる」という  
食を通じた  
「地域の居場所」

運営：「特定非営利活動法人おりざの家」

# ～おりざの食卓 概要～①

コロナ以前（2016・9月～2020・2月）の活動



◎実施日 毎週木・金曜日  
16：00～19：30

◎場 所 NPO法人 おりざの家内  
(太白区長町1丁目)

◎登録制

◎費用 子どもも無料：大人300円

◎内 容 「食」を通じた地域の居場所  
多世代で食卓を囲み夕食を食べ交流  
学習支援 ・ 相談業務



# ～おりぎの食卓 概要～②

## コロナ後(2020・3月～現在)の活動

※感染状況により休止の期間もあり

◎毎週金曜日 14:00～19:00

お弁当の配布

フードパントリー(食材配布) & おばんざい  
おさがり交換会



◎第1木曜日 13:00～16:00

おしゃべりサロン



◎登録者数

48名 (2020年2月末時点 コロナ前)

147名 (2022年8月末時点 コロナ後)





# 『食』へのこだわり

おりざの食卓の  
メニューについて



## ■一汁三菜

- ・和食を中心にした基本メニュー
- ・肉を使わず植物たんぱくをふんだんに使用

## ■身土不二

- ・その土地で取れた季節のものを食す

## ■一物全体

- ・食材は丸ごと使用・すべて使い切る
- ・根っこも皮も大切に調理

## ■行事食

- ・昔からの行事を大切に「食」と共に祝いします



## 関係団体との連携

### 定期的な会議の開催

- ・ 情報の共有
- ・ 取り組みの振り返り
- ・ 今後の方針

仙台市  
太白区役所

地域の生活課題を解決するために  
必要な機能

- ・ 連携・協働の場
- ・ 中核となる主体の場の存在
- ・ 包括的支援を調整・推進する  
役割を担う存在

特定非営利活動法人  
おりざの家

東北  
福祉大学

社会福祉  
協議会



# ～実際の活動の様子～①

コロナ以前（2016年9月～2020年2月）

おりざの食卓のタイムスケジュール

- 14:00～ 調理ボランティア調理開始
- 16:00～ 子ども達、学生ボランティア  
「おりざの食卓」へ  
自由時間～宿題、遊び、多世代交流
- 17:30～ 配膳等のお手伝い、高齢者・保護者など  
随時到着
- 18:00～ 夕食タイム
- 18:40～ お話しタイム
- 19:10～ 皆で後片付け、帰宅

※小学生は保護者のお迎えなどで帰宅



# ～実際の活動の様子～②

コロナ以前（2016年9月～2020年2月）



Summer School  
八木山動物公園  
ALCROSS



第三回

七夕流しそらめんのアへ  
『おひさまの食卓』

令和元年8月2日(金)



# ～実際の活動の様子～③

コロナ後（2020年9月～現在）



時間との勝負！必死なボランティアさん

たくさんの野菜を使っています



お弁当配布！今日もおいしいよ～



フードパントリーの品々



# ～実際の活動の様子～④

コロナ後（2020年9月～現在）

ご寄付の品々



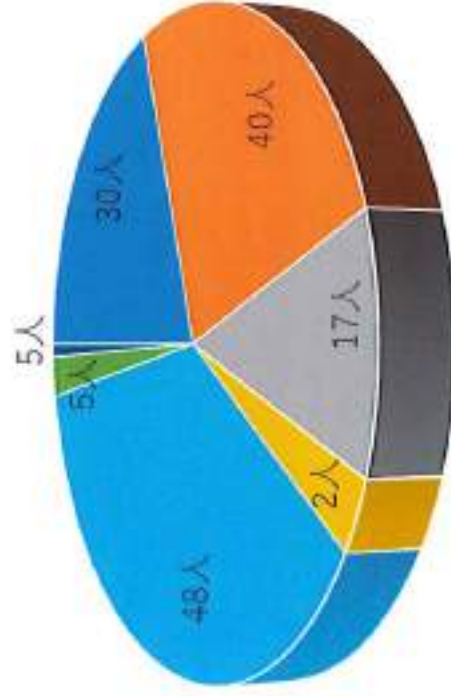
# 利用状況

利用状況：コロナ後（2020年9月～現在）

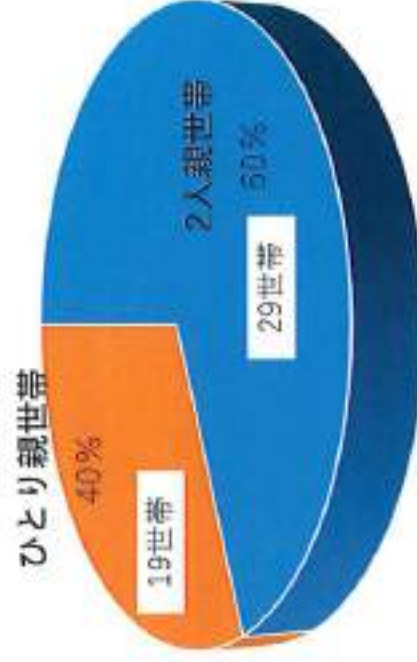
延べ利用総数：4185人

利用者の内訳

登録者数：147人



子育て世帯数：48世帯  
(高校生まで子供のいる世帯)



■ 2人親世帯 ■ ひとり親世帯

# 利用に至る経緯

## 理由

- コロナ以前（2016年9月～2020年2月）
  - ・コミュニケーション（居場所）を求めて
  - ・共働き、病気等で食事の準備が出来ずに
- コロナ後（2020年9月～現在）
  - ・経済的困窮
    - （ひとり親・コロナによる離職等）
  - ・病気による困窮
    - （身体的・精神的両方）
  - ・孤立しがちな状況から居場所を求めて

## 経緯

- ・利用者さんによる紹介
- ・ボランティアさんによる紹介
- ・ホームページを見て
- ・学校から配布されたチラシを見て
- ・区役所等の配架チラシを見て
- ・社会福祉協議会の
  - 子ども食堂紹介を見て
- ・民生委員・児童委員からの紹介
- ・マスコミ等の報道を見て
- 等…



# 利用者さん事例①

## 事例

### ・Aさん母子家庭

母40代・小学校高学年女子との二人暮らし  
心身疲労により離職・心療内科通院・生活保護対象外  
高校生の息子いるが祖父宅で生活  
同居の娘はいわゆるヤングゲアララー状態

### ・Bさん母子家庭

母40代・高校生女子  
コロナにより離職・生活保護対象外  
母親は難病指定の繊維筋痛症を疾患  
高校生の子どもはヘルニアにより歩行困難

## 利用者さんの事例②

### 事例

- ・ Cさん母子家庭  
母30代・子ども4人  
コロナ離婚
- ・ Dさん母子家庭  
母30代・子ども小学生の二人暮らし  
生活保護受給  
遠方のため食材を配送（毎週金曜日）
- ・ Eさん母子家庭  
母30代・子ども4人  
離婚間もない  
仙台に引っ越してきたばかりで不安な中での生活

# 「お리지の食卓」が目指すもの



# 子ども食堂の役割

◆ 経済的困窮支援のためだけじゃない子ども食堂の必要性

◆ 孤立防止の大きな役割

◆ 安心出来る居場所の提供



「子ども食堂」はこれからの新しい生活様式

～NPO法人ハンスオン埼玉：西川正氏～

2022年度 日本財団助成事業

「コミュニティカフェ等、地域共生社会のための活動の担い手育成」

## 「地域共生ボランティアのすすめ」

パネルディスカッション

～地域共生社会への活動～

令和4年10月22日(土) 午後2時～午後4時20分

仙台市シルバーセンター 7階 第一研修室

パネラー

# 對馬 良美

認定 NPO 法人キッズドア

東北事業部長



連絡先

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡 3-2-5

サンライズ仙台 2階

TEL 022-354-1157

e-mail : [tohoku@kidsdoor.net](mailto:tohoku@kidsdoor.net)

プロフィール：1981年生まれ。2015年より認定NPO法人キッズドアへ入職。東北事業部事業部長。「全ての子どもが夢や希望を持てる社会」を目指し、「全ての子どもが夢や希望を持てる社会」を目指し、居場所づくり、学習支援、キャリア体験活動等に取り組んでいる。経済状況などの理由から塾に通えず、授業についていけない子どもや、進学をあきらめようとしている子どものために、無料学習会を行っています。キッズドアは、東日本大震災の被災地の子どもたちに寄り添い、2011年から20年間にわたって継続的に支援を行う「八つ子基日本大震災の被災地の子どもたちに寄り添い、2011年から20年間にわたって継続的に支援を行う「八つ子基金」の助成先に2018年から加わる。2021年10月認定特定非営利活動法人を取得。

「キッズドア」の紹介：すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の実現を目指して活動しています。経済格差、地域格差、外国籍等文化の差異、ジェンダーギャップ、身体的精神的障がい等様々な困難な状況にある子どもたちと子育て家庭に対しての幅広い支援を行っています。（キッズドアの使命）今の日本では、子供たちを取り巻く環境が急速に悪化し、こどもたちの目の輝きは、日に日に失われています。経済的に苦しい家庭、ひとり親家庭、また、児童養護施設や被災地で暮らす子どもたち、さまざまな困難な状態にあたって、高校や大学の進学をあきらめる子どもが日本にもたくさんいます。生まれ育つ環境によって、夢や希望を持ってない子どもがいるのは成熟した社会とはいえません。親の収入格差が子どもの教育格差であってはならないとキッズドアは考えています。キッズドアは、2007年の設立以来、日本国内の子ども支援に特化し、すべての子どもが将来への夢や希望を持てる社会の実現に向けて活動しています。

公益社団法人 長寿社会文化協会 (WAC) 様  
2022.09.25 「地域共生ボランティアのすすめ」

# 地域共生社会への活動

---

認定NPO法人キッズドア  
東北事業部長 對馬 良美

# 子どもの貧困

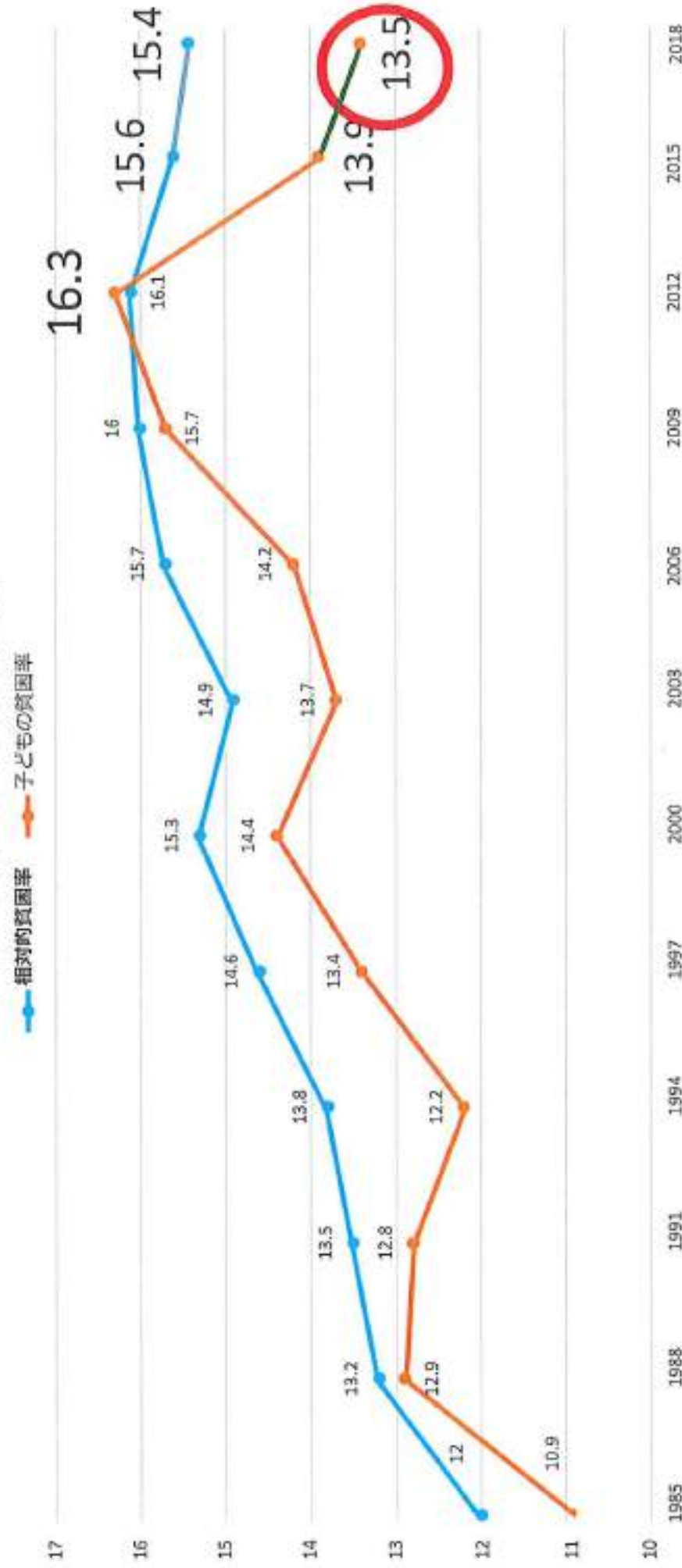
# という社会問題



わたしたちの社会とは？

日本の「相対的貧困率」を確認しよう。  
日本では、実に7人に1人の子どもが貧困状態にある。  
改善傾向にはあるが、依然として厳しい状況だ。

## 日本の子どもの貧困率



(出典)厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査の概況」

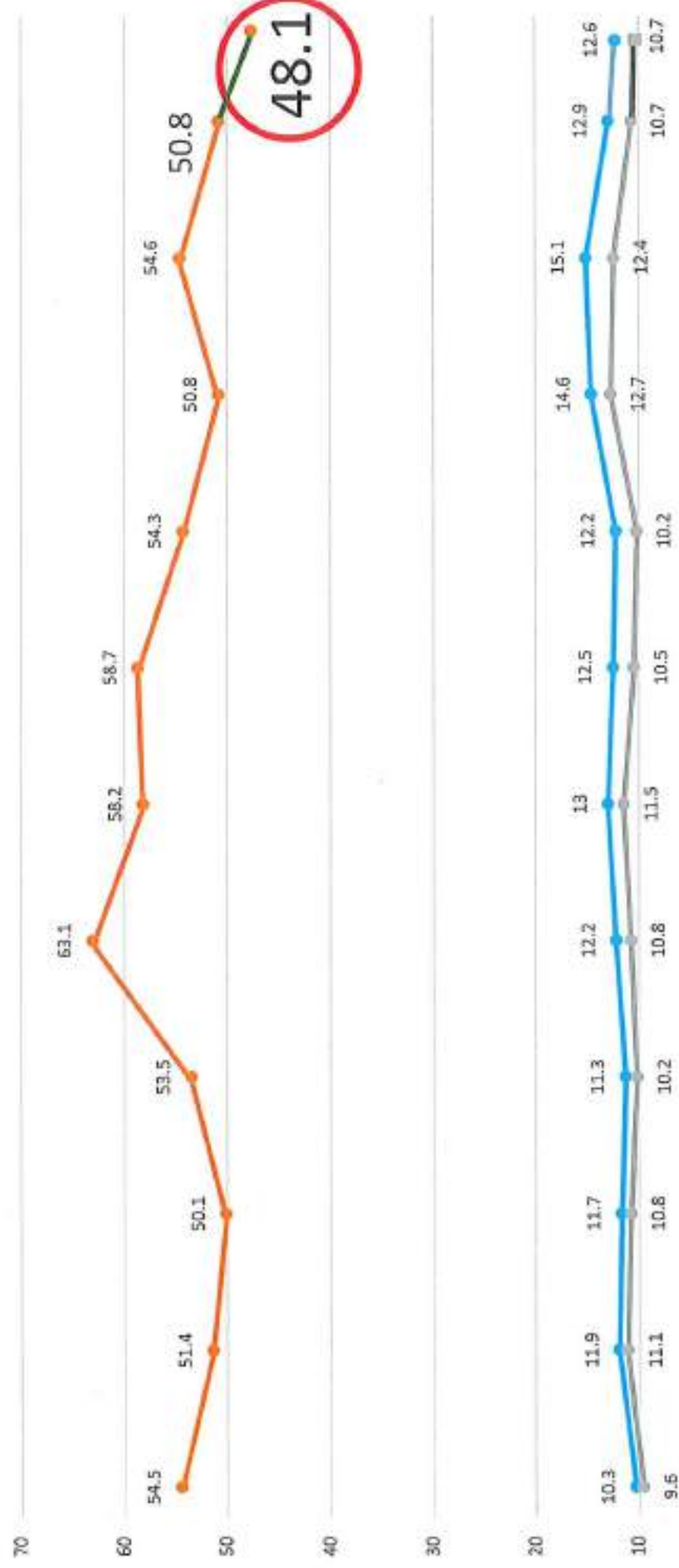


わたしたちの社会とは？

# ひとり親家庭の貧困率は48.1%

(%) 子どもがいる世帯の相対的貧困率 (世帯種別)

—●— 子どもがいる現役世帯 —●— 大人が一人 —●— 大人が二人以上



0 10 20 30 40 50 60 70

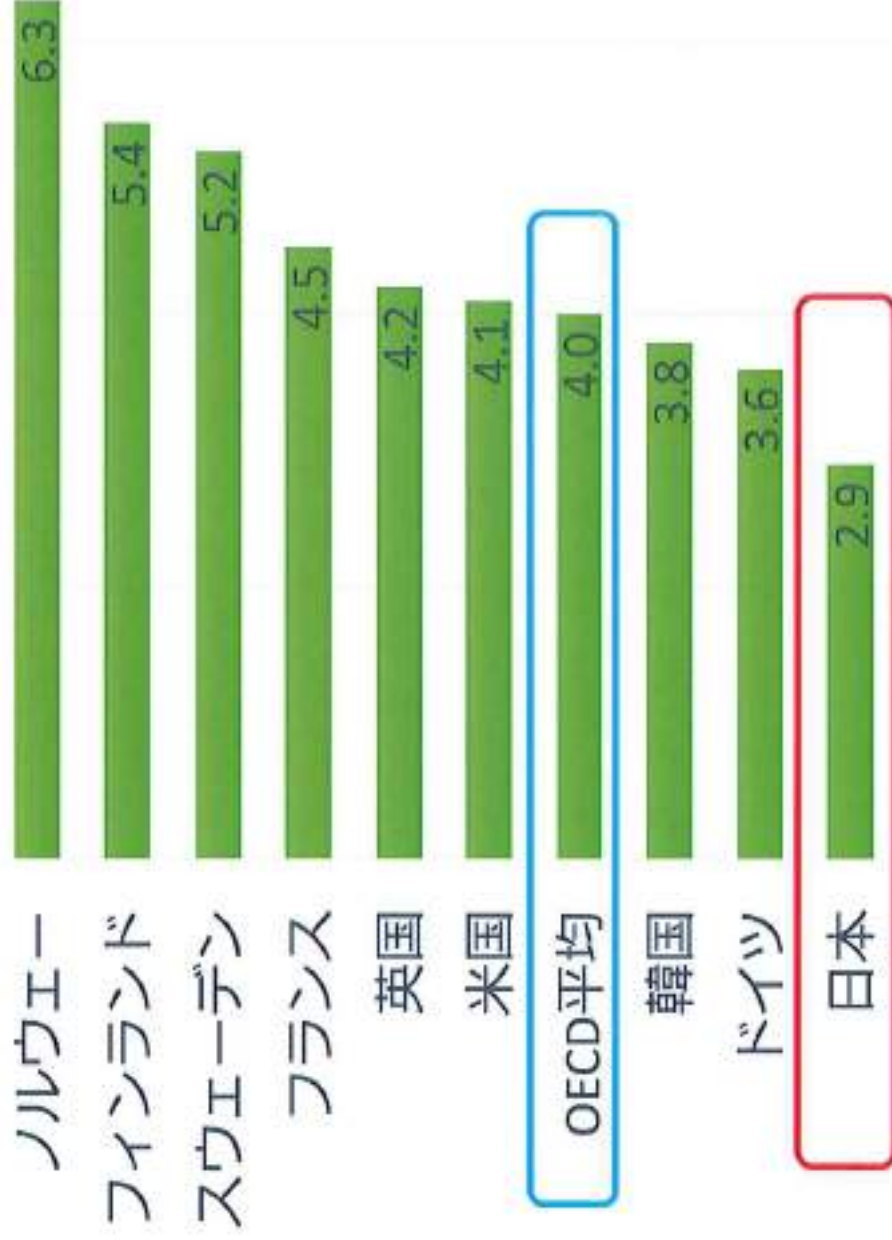
1985 1988 1991 1994 1997 2000 2003 2006 2009 2012 2015 2018

(出典)厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査の概況」

# 日本は世界に比べ 教育にお金がかかる

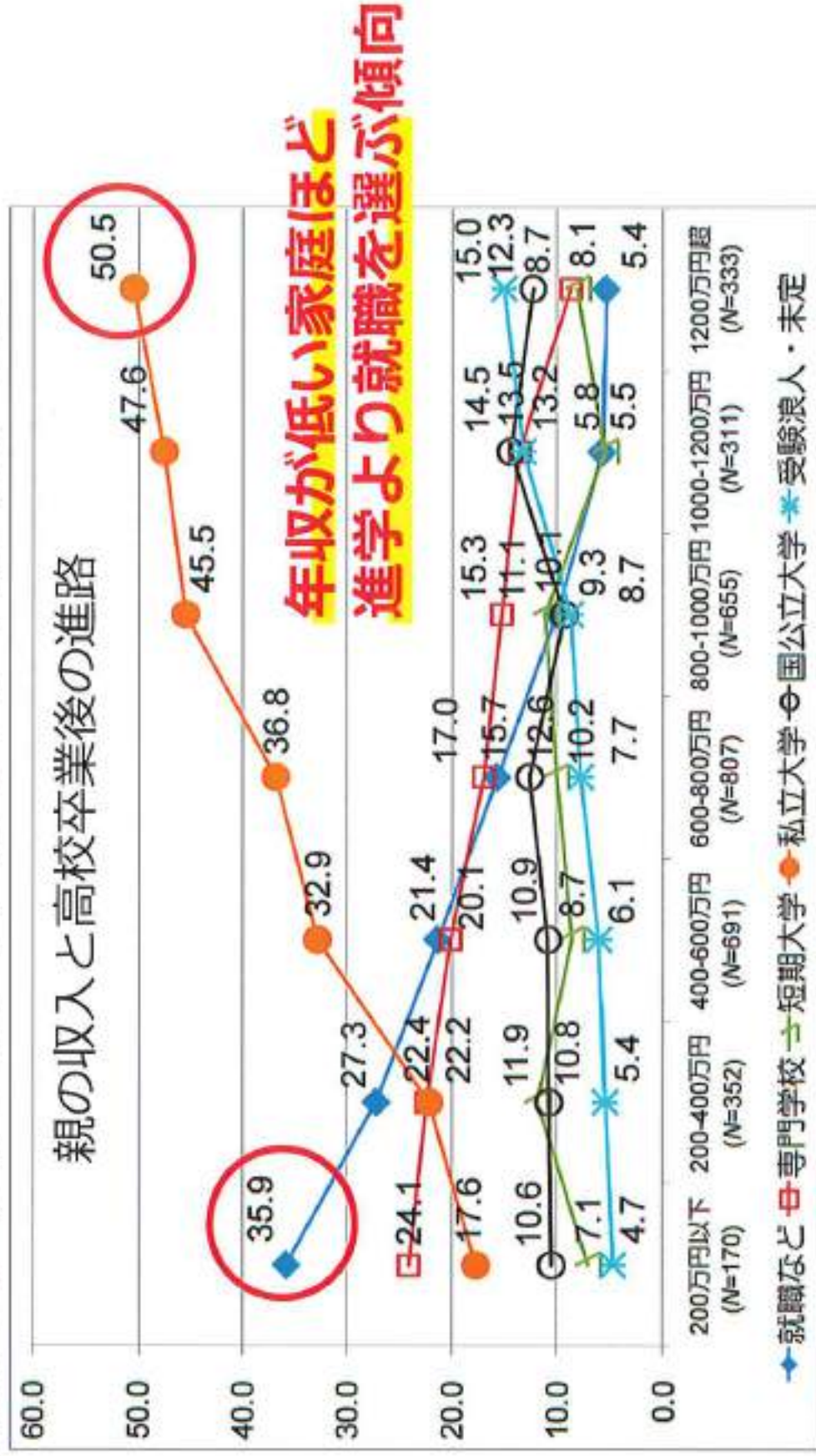
## 公的教育支出、日本はOECD35カ国中最低

主なOECD加盟国のGDPに占める教育機関への公的支出割合 (%)

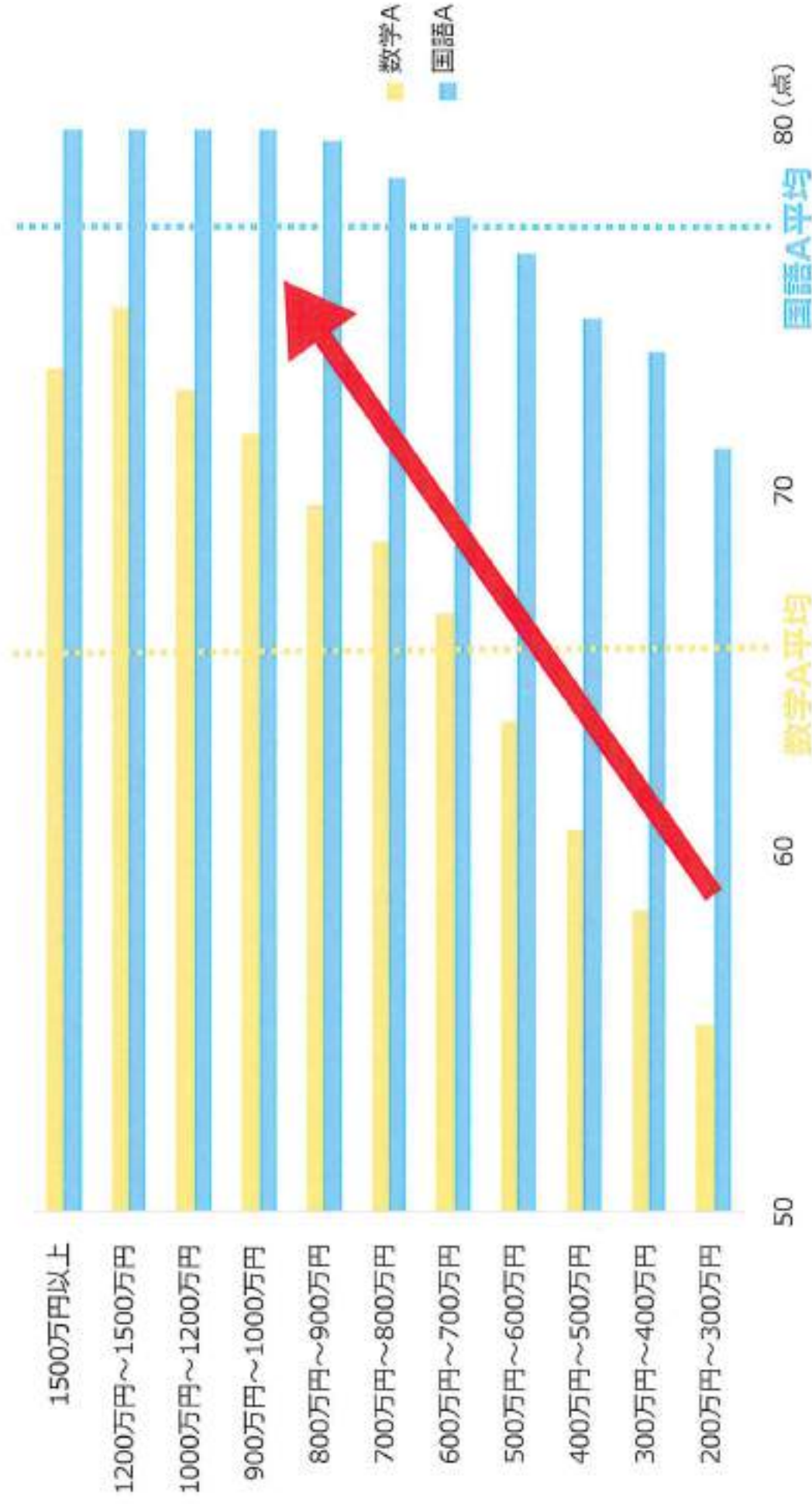


(2019年9月11日経新聞朝刊より)

# 大学進学に立ちほだかる大きな壁 学費が高く、給付型の奨学金もないので、 低所得世帯の子どももの大学進学率は下がる。



# 世帯収入と学力の関係



(出典) 文部科学省委託研究「平成25年度全国学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」(国立大学法人お茶の水女子大学)

今の日本では  
親の収入格差が  
子どもの  
教育格差・学力格差  
に繋がってしまいます。

## 学力低下の原因

塾や家庭教師に行かせられないというだけではなく  
生活環境が大きく影響している。

### 住環境

家が狭く、勉強部屋がありません。宿題をやるうとすると、保育園の妹が邪魔をして、ドリルやノートをぐちゃぐちゃにしています。

### 時間の貧困

母子家庭で、正社員につけないため、低賃金のパートをワーク、トリプルワーク。子どもは家で勉強をみてもらうことができない。

### 教育へのわずかな投資ができない

家にはパソコンがない。参考書や問題集を買うのも大変。模試が受けられない。

# 社会的相続の重要性

貧困を背景とした親から子への「負の社会的相続」が、  
将来の自立する力を奪う可能性がある

親

親から子へ“相続”されるもの

子どもにかけるお金  
子どもにかける時間  
親の周囲との関係  
親の生活習慣  
親の価値観

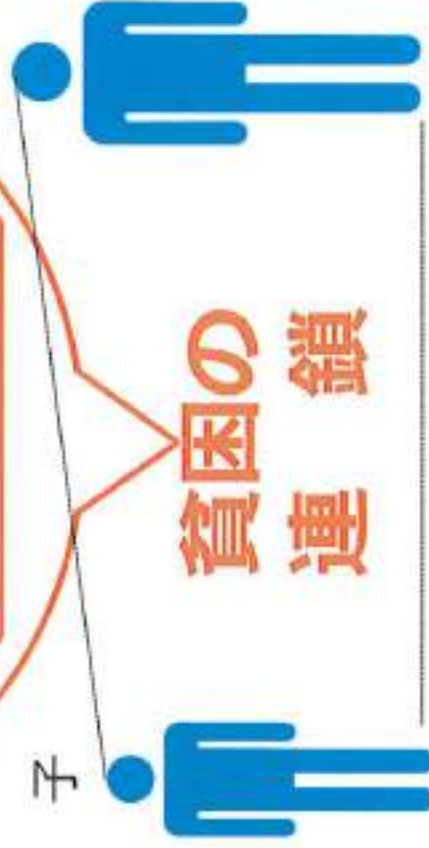


親

自立に必要な力

人や社会と関わる力  
思考／判断／表現力  
知識・技能  
学習意欲  
学習習慣／方略  
生活習慣

子



**親の収入が少ない**



**十分な教育が受けられない**



**進学や就職で不利**



**この先この子は？**



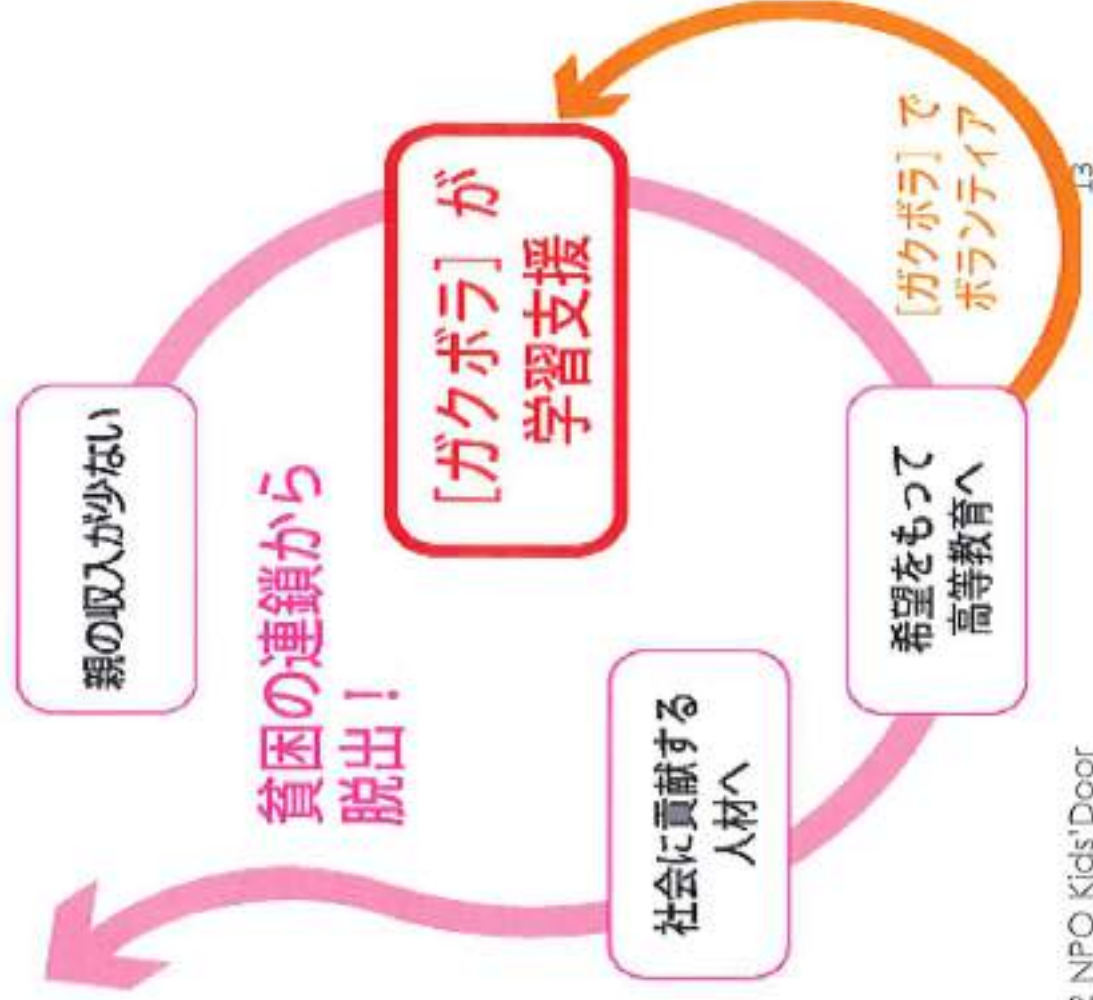
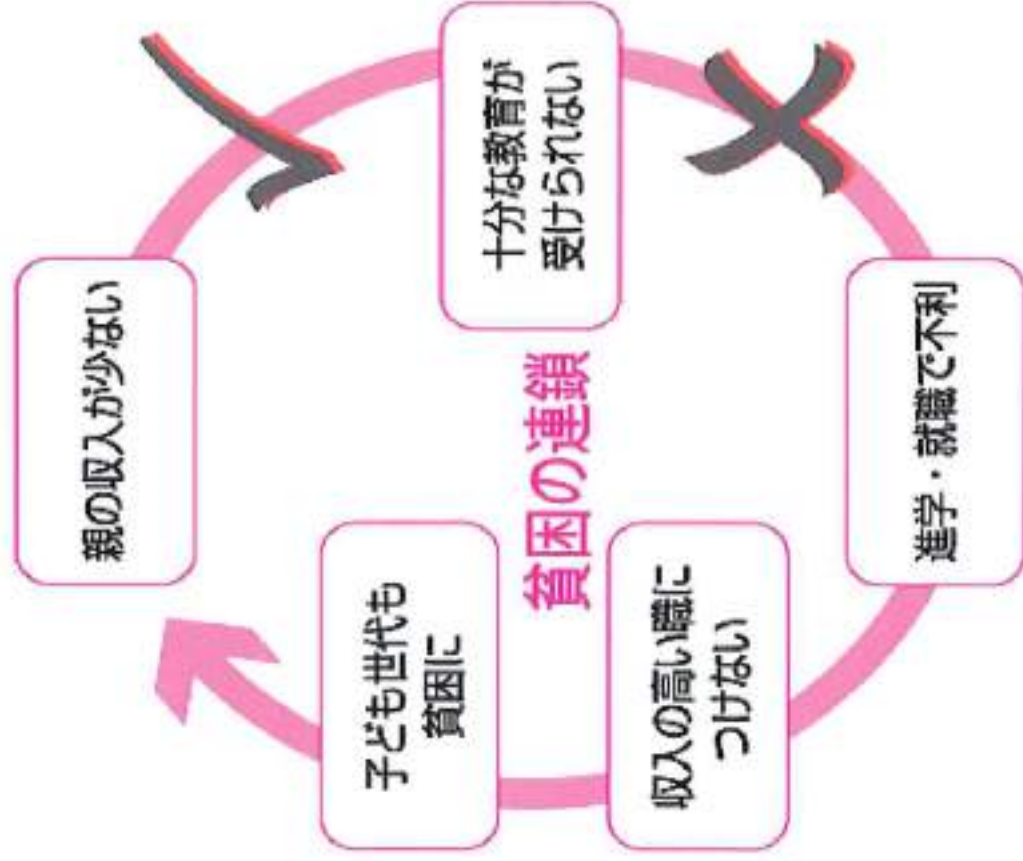
親の収入格差が子どもたちの教育格差であってはならない

## すべての子どもが 夢と希望をもてる社会へ



キッズドアは、2007年の設立以来、日本国内の子どもたちも支援に特化し、すべての子どもたちが将来への夢や希望を持てる社会の実現に向けて活動しています。

# 貧困の連鎖を解消するために 「教育」へアプローチします



## 貧困の連鎖解消によるインパクト

EX・高校に進学できずフリーター  
→生活保護受給 税金から支出

+

大学→中小企業正社員  
生涯賃金2億6000万円  
生涯納税額3,010万円

||

1億円以上の効果が見込める！

※キッズドア推計

【子どもの貧困の社会的損失推計（日本財団）】

現在15歳の子ども1学年だけでも1学年だけでも、社会が被る**経済的損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担は1.1兆円増加する**

# キッズドアの歩み

見えにくい貧困で  
子どもに未来を  
あきらめさせない



# 2007年 キッズドア設立

問題意識



想い

家庭環境の厳しい子どもたちも  
分け隔てなく、ボランティアで  
気軽に勉強をみてもらえる機会、  
子どもたちの勉強にかかるお金  
はみんなが寄付でまかなう仕組  
みなど、**地域一体となつて子ど  
もを育てる社会のしくみを作り  
たい!**という想いで設立されま  
した。



# キッズドアが進めてきたこと

## ① 貧困家庭の子どもが 無料で勉強を見てもらえる仕組みづくり

### <無料学習会の沿革>

2010年夏  
無料の高校受験対策講座[タダゼミ]開講

2011年4月  
無料の大学受験対策・中退予防のための  
[ガチゼミ]開講

2011年  
東日本大震災の被災者支援開始  
※現在も仙台市・南三陸町で事業を継続しています



## キッズドアが進めてきたこと

### ② ボランティアで子どもたちのためになる ことを気軽にできる社会づくり

2010年度、  
第1回ガクボラ報告会「教育格差解消  
をデザインする「ガクボラ」の取組  
み」を開催。

学生のボランティアたちが自分たちの  
取り組みを発表する機会をつくる。  
以降、毎年開催。



学生ボランティア・  
社会人ボランティアが広がる。



# キッズドアが進めてきたこと

## ③ 寄付で子どもを助ける仕組みづくり

**金銭面でのご支援、  
物品のご支援、  
イベントの共催** など、  
さまざまな形で支援が広がっています。

### 2021年度ご支援いただいた企業のご紹介

- ・ SBCメディカルグループ株式会社様
- ・ QUALCOMM様
- ・ ロダン+フィールズ PFC財団様
- ・ ブルームバグ・エル・ピー様
- ・ アプライドマテリアルズジャパン様
- ・ 三井住友ファイナンス&リース株式会社様
- ・ 三菱商事株式会社様
- ・ 株式会社ライブズ様
- ・ TikTok Japan様                      etc...





# キッズドアが進めてきたこと

## ④ 国への働きかけ

2014年  
内閣府にて「子どもの貧困対策に関する大綱」を発表  
理事長渡辺が「子供の貧困対策に関する有識者会議」メンバーに



2015年  
生活困窮者自立支援法により  
学習支援事業が広がる

大きな力で国を動かすには、自分たちの団体だけでなく他団体との横のつながりも必要と考え、

- ・ 共同署名、イシューレイジング
- ・ 全国子ども貧困教育支援団体協議会の発足
- ・ クローズド勉強会の実施
- ・ トークライブ、シンポジウム開催等を行い、大きな揺れ・歪みを起こせるよう、取り組んでいます

<直近の取り組み>

- ・ ブラック校則をなくそうプロジェクト
- ・ ソーシャルウエンズデープロジェクト
- ・ 9月入学本当に今ですか？プロジェクト
- ・ 新型コロナ対策児童扶養手当臨時拠出キャンペーン など

## ⑤これから

依然として  
制度のはざまに落ちてしまう  
子どもたちが存在し、  
今も苦しんでいます。

貧困  
ネグレクト

発達  
障害  
グレー  
ゾーン

高校  
中退

外国  
ルーツ

低学力  
不登校

ヤング  
ケア  
ラー

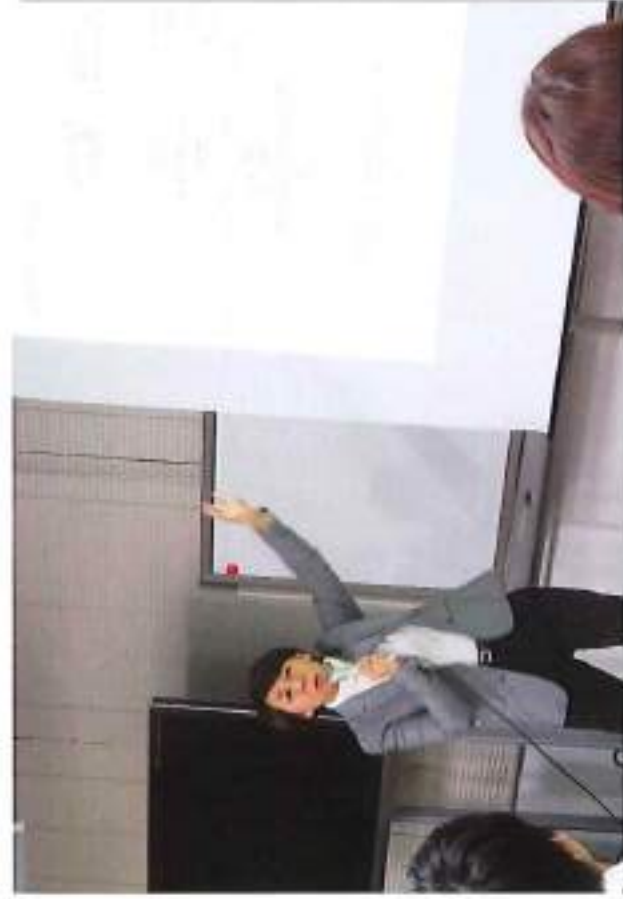
私たちは

これからも制度のはざまに落ちてしまっ  
子どもたちのために活動します。

# キッズドア・マイミド



わたしたちは、  
ひとりでも多くの子どもが  
夢や希望を持てる社会の実現のために  
活動しています。



私たちは「親の収入格差が子どもの教育格差であってはならない」と考え、「すべての子どもが夢と希望をもてる社会」の実現を目指して活動しています。

子どもに寄り添う温かさ、  
子どもが好き！という想い、  
子どもの貧困の解決に向けた  
あきらめない強い気持ち、  
が最大の武器になります。

理事長が自ら、  
子どもに勉強を教えることも▶



目の前にいる子どもたちのために何ができるか？  
どんな子どもに育ってほしいか？  
彼らが大人になったとき、  
どんな社会を見せたいか？  
を常に考え、行動します。



◀勉強だけでなく、  
体験活動や遠足などの企画も



会社訪問し自分の将来を考える  
「キャリア教育」▶

ご清聴ありがとうございました。

ボランティアの輪が広がりますように！



KIDS DOOR  
認定NPO キッズドア